

第2回

先人たちの英知を受け継ぎ、進化しつづける

丸善・九谷焼展

優美な色絵の世界



福田良則 作 爛漫遊鳥文 飾壺



宮本直樹 作 陶彫「白象香炉」

最終日は15時閉場

2018年5月30日(水)～6月5日(火)

丸善・日本橋店 3階ギャラリー・特設会場

主催：丸善日本橋店展示会 運営委員会

後援：北國新聞社、石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会、石川県人会

協賛：小松九谷工業協同組合、九谷上絵協同組合、加賀九谷陶磁器協同組合
九谷焼伝統工芸士会、株式会社日本ヴォーグ社

豪快かつ色調淡く独特の魅力があり、柿右衛門、色鍋島、仁清と並んで、日本の色絵陶磁の代表的なものとなっている九谷焼。「呉須（ごす）」と呼ばれる藍青色で線描きし、「五彩」と呼ばれる赤・黄・緑・紫・紺青の5色で絵の具を厚く盛り上げて塗る彩法で、絵柄は山水・花鳥など絵画的で大胆な上絵付けが特徴的です。石川県・九谷で生まれた九谷焼は、360年の歴史があり、明治期には貿易品として海外に輸出されるようになり「ジャパノクタニ」として世界に名を轟かせました。

山本 篤

オーダー

在廊予定日：5/30(水)～6/5(火)

プロフィール

1975年独立、妙泉陶房開業。
1990年、兄の山本長左と共に天皇皇后両陛下の御紋入器を制作。
以来、「饗宴の儀」での使用食器等、宮内庁より様々な依頼を受け制作に臨む。九谷焼伝統工芸士会会長。平成29年度 全国伝統的工芸品公募展 最高賞・内閣総理大臣賞受賞



こだわり

素地は一点ずつ、ろくろによる手挽きで作り上げており、さらに釉薬を重ね掛けることで生まれる、流れと溜まりの調和をご覧ください。
『黄磁釉』…古来、中国の王朝などで珍重されたギョク（勾玉）色の釉薬。長年研究を重ね、九谷焼の磁胎に使われる地元の花坂陶石を釉薬にも使用することで、貫入や気泡の入らない透明感のある黄緑色を、現代に再現しました。



黄磁釉 鉢（シダ文）
540,000円（税込）

福田 良則

在廊予定日：5/30(水)～6/5(火)

プロフィール

1973年 石川県伝統技能研修生認定
1995年 通商産業大臣認定九谷焼伝統工芸士
1985年 創造美術展新人賞
以後35年連続入選、11回受賞
日本伝統工芸士作品展3回受賞
2013年 九谷焼伝統工芸士会副会長就任、
創造美術会陶芸部長、創造美術展審査委員



こだわり

九谷五彩を用いた伝統的九谷焼上絵付けの青手色絵技法、赤絵金盛技法二通りを学び独自の描き方を模索し47年五彩絵具の調合、焼成温度調節に研鑽を重ね更に九谷焼伝統の図柄を基本に現代画風技法に挑戦を続けます。



金彩山帰来文 花器
518,400円（税込）

表紙：爛漫遊鳥文 飾壺 540,000円（税込）

宮本 直樹

オーダー

実演

在廊予定日：5/30(水)～6/5(火)

プロフィール

日本陶磁会会員 九谷焼伝統工芸士
1964年 朝倉彫塑塾入門
1967年 日展彫塑部門入選
1972年 現代美術展入選受賞
1982年 新槐樹社入選受賞
2010年 第10回日本伝統工芸士会展受賞
2016年 第39回伝統九谷焼工芸展受賞(技術賞)



こだわり

わたくしたちの風土の中で受け継がれて育まれて来た九谷陶磁彫刻の流れをふまえ、手によって造り出される作品がもつ「暖かくて潤いのあるやさきもの」をと念じつつ創っております。



陶彫「地藏菩薩」
378,000円（税込）

表紙：陶彫 白象香炉 270,000円（税込）

山口 義博

オーダー

在廊予定日：6/1(金)～6/5(火)

プロフィール

1971年 文化勲章受章者二代浅蔵五十吉先生に師事
1976年 日展初入選以来18回入選
1994年 日展会友に推挙される
2002年 伝統工芸士に認定される
2003年 現代美術展最高賞受賞
2008年 日本伝統工芸展入選
2016年 伝統工芸品産業功労賞中部経済産業局長表彰



こだわり

青手古九谷の技法を基礎として発展させた技法で、青みがかかった緑色の上絵釉の美しさと奥行き感、黒・白等の釉薬とのコントラストの塗埋め手と、独自の気高い紫釉の塗埋め手で自然の美しさ、生命の輝きをテーマに作陶をしております。少しでも心と技を磨き、魂を浄め、癒すような作品を創る事が出来れば！



華釉彩不二文方壺
324,000円（税込）

山中 國盛

オーダー

※追作に限る

在廊予定日：5/30(水)～6/3(日)

プロフィール

1952年 金沢美大油絵科卒 芸術会員
浅蔵五十吉先生に師事
七年間、九谷五彩を用いた現代九谷の制作を習得。
日展、現代工芸、伝統工芸士として制作活動を続ける。



こだわり

古九谷以来、本流である色絵を用い、大胆な運筆及び精密描写などを駆使して日本の心を表現していきたいと思っております。



昇龍
1,296,000円（税込）

山本 芳岳

プロフィール

1978年 福井高等学校 デザイン科卒業
1980年 金城短期大学 日本画卒業
1982年 九谷工芸高等訓練校 ロク口成形卒業
相上芳景先生師事
1985年 師の門を辞して(株)加賀陶苑入社
1996年 通商産業大臣認定 伝統工芸士
2006年 (株)加賀陶苑代表就任



こだわり

私は、九谷焼の数ある技法の中で江戸後期から明治にかけて完成された赤絵細密画に引かれ、この道に入りました。
この大切な技法を後世に残すため、また日本人の心の中にある神話やおとぎ話を題材に日本人しか描けないものを残して行きたいと思っております。



赤地金襴鳳凰文輪茶碗
194,400円（税込）

1869年より、国内外の優れた逸品をご紹介してきた丸善では、伝統を継承しながら現代の暮らしに合わせて変化を続ける九谷焼の魅力に迫ります。

花器、茶碗、香炉、酒器などの美術品から、湯呑、茶盤、皿などの日用品まで、現在活躍する九谷焼の巨匠から若手作家の作品を幅広く取り揃えます。未来へ進化しつづける九谷焼の変遷をお楽しみ下さい。

平野 由佳

実演

在廊予定日：5/30(水)～6/5(火)

プロフィール

- 1997年 山田義明氏に師事
- 2005年 伝統九谷焼工芸展新人賞
朝日陶芸展入選
- 2006年 金沢城・兼六園大茶会にて最高賞
- 2007年 伝統九谷焼工芸展奨励賞
石川の伝統工芸展奨励賞
日本工芸会正会員に認定
- 2008年 九谷焼加飾部門 伝統工芸士認定
- 2011年 伝統九谷焼工芸展 技術賞



色絵小紋に面取 四季の園 花器
162,000円(税込)

こだわり

四季折々の草花の持つ、ほっとするような優しさ、時期が来るといつも美しい姿を見せられる生命力の強さに心惹かれ、その繊細で優美な彩りを、九谷の淡い色を重ねていく事で表現出来たらと精進を重ねています。

三浦 晃禎

実演

在廊予定日：6/1(金)～6/5(火)

プロフィール

- 1975年 石川県能美市にて生まれる
- 1994年 宮内庁御用達山本長左氏に師事
- 2009年 経済産業大臣指定伝統工芸士に認定
- 2014年 第17回日本伝統工芸士会作品展にて
経済産業省九州経済産業局長賞(三等)受賞
- 2015年 第18回日本伝統工芸士会作品展にて
経済産業省中部経済産業局長賞(三等)受賞



古典柄にこだわり現代に合うようアレンジして表現しております。

こだわり

下絵の染付と上絵の九谷五彩、焼成温度が違い完成まで時間がかかりますが、落ち着きと華やかさを表現したくこだわりを持ち制作しております。



青華紅彩三友文 香炉
216,000円(税込)

宮本 雅夫

実演

在廊予定日：6/1(金)

プロフィール

- 1971年 石川県小松市に生まれる
- 1996年 東京藝術大学美術学部卒業
- 2005年 文化庁派遣新進芸術家在外研修員として
イタリアに渡る
- 2010年 小松空港到着ロビー陶壁「五箇山」制作
- 2017年 「現代九谷焼の旗手たち」展(富山市佐藤記念美術館)
- 2018年 第11回現代茶陶展 TOKI 織部奨励賞
第41回伝統九谷焼工芸展 優秀賞



九谷色絵桔梗文酒盃
32,400円(税込)

こだわり

九谷の磁土や伝統的な技法を大切にしながら、産地で制作をおこなうことの意味を模索しています。過去の九谷の歴史を振り返りながら、その時々を時流を得た表現を吸収し、作品づくりに生かしたいと思っています。今回は、九谷焼のDNAである色と文様にこだわった、目で見て美しく、使い勝手もよい器を揃えてみました。

井上 雅子

実演

在廊予定日：5/30(水)～6/2(土)

プロフィール

- 九谷焼技術研究所卒
- 九谷焼伝統工芸士認定
- 各種展示会に出品



こだわり

上絵掻き落とし。日本的で、墨の匂いがするような作品を目指しています。



香炉 猿
86,400円(税込)

野上 映翠

在廊予定日：6/2(土)・6/3(日)・6/5(火)

プロフィール

京都伝統工芸専門学校卒業後、山本長左に師事。現在は埼玉県でカルチャーセンターにて絵付け教室を担当しながら色絵細描の絵付けを主に作陶しています。



こだわり

九谷焼の鮮やかさと京薩摩の雅やかさに憧れて色絵細描の作品を主に作っています。小さな作品が多いですが、一見すると気がつかないようなところにも鳥がいたり、かわいい柄が入っていたり、飽きの来ない作品になるよう心掛けております。



盃 翠星
21,600円(税込)

山本 秀平

実演

在廊予定日：5/30(水)～6/5(火)

プロフィール

- 2009年 京都府立陶工高等技術専門学校 図案科卒業
- 2010年 九谷焼窯元(株)加賀陶苑入社
父山本芳岳氏に師事
- 2013年 第36回伝統九谷焼工芸展 新人賞
- 2015年 第38回伝統九谷焼工芸展 技術賞
- 2018年 第41回伝統九谷焼工芸展 技術賞



こだわり

九谷伝統赤絵細描の技法を継承し、特に器全体を赤絵の細描で埋め、少し金彩や色彩を挿す。この赤絵細密画の様式造りに励んでいます。



赤絵細描放射小紋「光」鉢
518,400円(税込)

川上 真子

オーダー

※作品により可

在廊予定日：5/30(水)～6/5(火)

プロフィール

神奈川県出身。
2012年石川県九谷焼技術研修所卒業。
山本長左氏に師事。
2016年独立。
石川県能美市にて、染付を中心に絵付磁器を製作。



こだわり

染付は藍一色の制約がある表現であるために、器の質感や絵の表情がより際立つように思います。染付ならではの透明感とやさしい色合いを大事に、手に取ってくださる方の心がしばし器の中に遊んで開放されるような、豊かで自由な器づくりを志しています。



祥瑞手桃型皿
7,560円(税込)

木戸 優紀子

実演

在廊予定日：6/2(水)～6/5(火)

プロフィール

学制時は日本画専攻していましたが、伝統を継承していきたいと決意してから出会ったのが、この九谷の染付です。気付けば、今年で13年目になります。初心忘れず、しかし新しい事への挑戦の気持ちを持って、日々精進し邁進していきたいと思えます。



こだわり

約1300度の高温で焼成され、釉薬の下でようやく青く発色する染付。私が制作する下絵付けの作品は単色である為、濃淡と線で魅せるものになっています。その二つの中でも特に大事にしているのが、線です。この技法独特の、ゆるやかに滲むひとつひとつの線に命を吹き込ませるよう、努めて描いています。



「解放」
540,000円(税込)

西 由香

オーダー

実演

在廊予定日：5/30(水)～6/2(土)

プロフィール

1981年 石川県小松市に生まれる
2003～2014年 保育士として働く
2014年 九谷焼技術研修所本科入学
2016年 第39回伝統九谷焼工芸展
能美ロータリークラブ新人賞受賞
2016年 卒業制作パーマネントコレクション選定
2016年 九谷焼技術研修所研究科入学
2017年 卒業制作パーマネントコレクション選定
2017年 4月から自主制作



こだわり

作品は今の自分を表現してくれるものだと思っています。かたちを作る時、絵を描く時、表現したい気持ちをのせたり、自然とワクワクしたり、穏やかになったり、色々な気持ちを味わいながら制作しています。それが、色や雰囲気、味わいとして、みる人を感じて頂けたらと思っています。



香合 fairy tale～親指姫～
33,480円(税込)

針谷 絹代 (山中塗)

在廊予定日：5/30(水)～6/5(火)

プロフィール

蒔絵は日本独自の技法ですがその技法を用い多くの人に蒔絵を知っていただきたいと思っております。茶道具にこだわらず、アクセサリ、食器、時計等様々なものを作り素材にもこだわっております。そうやって新しい事に取り組むのが楽しいのです。



こだわり

若い頃に趣味で油絵を描いていました。蒔絵でそんな感じが表現できないかと思い細かなタッチで描いている私のオリジナルです。「蒔絵細描」です。とても時間をかけて仕上げました。ぜひ見て下さい。



日の出ふくろう蒔絵丸重
378,000円(税込)

(株)日本ヴォーグ社 Studio KILN ART Presents

九谷焼豆皿 絵付け体験会

6月1日(金)

3F 特設会場

① 10:30～ ② 12:00～ ③ 13:30～ ④ 15:00～ ⑤ 16:30～

各回定員：4名 制作時間は約1時間

参加費：4,500円(税込・材料一式・焼成代込)

Studio KILN ARTで九谷焼絵付け講師も務める作家、宮本雅夫があらかじめ線描きした豆皿(直径95mm)に、鮮やかな九谷五彩で色付けする体験会です。作家とのコラボとなる世界でたった一つの豆皿絵付けで、伝統的な九谷焼の世界に触れてみませんか。



※事前お申し込みが必要です(空席がある場合は当日お申し込みも可能です)

※作品は焼成後店頭にてお渡しとなります(6/9以降)

お申し込み・お問い合わせ 丸善日本橋店 ☎(03)6214-2001

小皿・豆皿特集

九谷作家たちが手掛けた約100点のオリジナル小皿・豆皿も展示販売いたします。

薬味を添える豆皿や、料理を取り分けるお皿として、食卓に彩りを添える手のひらサイズのうつわの数々をお楽しみください。

